

「誇れるわたしたちの警固屋小学校を作ろう」

- 日 時 令和3年11月2日(火) 13:45～:14:30(第5校時)
- 学年・学級 第6学年1組 (男子10名 女子7名 計17名)
- 場 所 6年生教室
- 指導と評価の構想

(1) 単元について

単元観

本単元は、本質的な問い「わたしたちは、地域とどうかかわり、どう生きるのか」を基に構想した。警固屋小学校の課題や大切に受け継がれている伝統、卒業生や保護者地域の方の思いなどを調べ、地域に誇れる学校にするために「自分たちにできること」という視点から自らの課題を設定し解決していくことを通して、本中学校区で設定した資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・協働性】を育成することをねらいとしている。児童は、最高学年として地域に誇れる学校にするために、自分たちにできることは何か考えることを通して、自らが学校を創っていく存在であることを自覚し、学校の伝統の継承の先に、地域の活性化があることに気付くことによって、地域の一員として自らの生き方を問い直していくことが期待できる。このような学びの姿は、授業者が設定した本質的な問いを基にした探究的な学びを具現化するものであり、本中学校区で設定した資質・能力の育成につながると考える。

児童観

本学級の児童は、5年生から、委員会活動を通して、学校の生活をよりよくしていこうという取組を行ってきた。また、昨年度、6年生から渦潮太鼓、ソーラン節を教わり、最高学年として発表することにあこがれをもっている。しかし、学校の伝統の継承と地域の活性化とのつながりを意識できていないと言えない。

事前アンケートの結果を見ると、「課題について『なぜだろう』『やってみよう』と思う。」「友達と話し合い、自分の考えを深めたり広げたりしている。」の肯定的回答の割合が高く、課題解決に向け、協働的に活動することができるようになってきていると考える。一方、「課題を解決するために、進んで資料を集めたり、取材したりしている。」の肯定的回答が他の項目より低く、課題解決のために必要な情報を収集する経験が十分ではないと考えられる。そのため、探究的な活動を仕組み、自分で何が解決に役立つかを見通し、人、もの、こととの対話を通して、進んで情報を集める工夫が必要である。

探究的な見方・考え方

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、地域に誇れる警固屋小学校にするために、校内の課題を解決したり、伝統を継承したりする取組を通して、地域の活性化のために自分に何ができるかを探究し、自分は地域とどうかかわり、どう生きるのかを考える。

指導観

探究的な活動を支える土台として、探究的な見方・考え方を働かせることを重視し、人・もの・こととの対話の場を効果的に設定する。

単元の導入では、最高学年となり、自分たちの学校が地域に誇れる学校であるかを考えることを通して、学校をよりよくしていくことが地域のためになるのではないかという課題意識をもたせる。第一次では、学校の課題を話し合わせ、現状を調べるために、全校児童へのアンケート等、必要な方法で情報を収集させる。第二次では、学校の伝統を継承する意味や価値に気付かせるために、卒業生や保護者など、様々な人の思いに触れる場を設定する。第三次では、地域に誇れる学校にするために、他地域へ学校のよさをアピールする封筒のデザインを作って、発信する活動を設定する。単元を通して、最高学年として、地域の一員として、地域の活性化のために自分たちにもできることがあるという達成感を味わわせたい。

(1) 本時の考える場面

グループで封筒のデザインをまとめるために、友達と意見を交流し、「良いデザイン」の視点で封筒にどんなことを付け加えたらよいかについて、優先順位を付けながら考えさせる。

(2) 思考の整理の工夫と対話

グループの意見をまとめるために、ダイヤモンドランキングを使って、複数のアイデアに優先順位を付けながら話し合わせる。【人との対話】

(2) 単元目標

学校をよりよくしていくために校内の課題を解決したり、学校の伝統を継承したりする活動を通して、地域に誇れる学校を作ることが地域の活性化につながることに気づき、地域の一員として自分に何ができるか積極的に考え、実行できるようにする。

(3) 評価について

	評価規準	評価方法
知識・技能	① アンケートなど、課題に応じた方法で調査を実施している。 ② 学校の伝統である渦潮太鼓、ソーラン節、スタンプラリー等は、様々な人々の思いや願いによって支えられてきたことが分かる。 ③ 地域への貢献に対する意識の高まりは、地域に誇れる学校を作ることが地域の活性化につながることを探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	ワークシート 行動観察
思考力・判断力・表現力	① よりよい学校にするにはどうすればよいのか、解決の見通しをもって計画を立てている。 ② 警固屋小学校のよさをアピールするデザインにするために必要な情報を、実物やタブレット等を活用して収集している。 ③ 警固屋小学校のよさをアピールするデザインにするために、集めた情報を比較したり順序付けたりして理由や根拠を明らかにし、デザインを決定している。 ④ 全校児童に呼びかけるために、学校の課題について集めた情報を活用し、効果的にまとめている。	計画表・発言 ワークシート 行動観察 表現物
主体性	① 目的に向けて、粘り強く、試行錯誤しながら積極的に課題を解決しようとしている。	行動観察 ワークシート
協働性	① よりよい学校にするための取組について、友達と話し合いながら、問題の解決に向けて協力して取り組んでいる。	行動観察 ワークシート

(4) 指導計画 (全29時間) 本時 第三次第6時

<本質的な問い> わたしたちは地域とどうかわり、どう生きるのか。								
次	時数	主な学習内容	《思考スキル》 (思考ツール) [対話]	評価規準 (評価方法)	教科等との関連			
【単元を貫く問い】地域に誇れる警固屋小学校にするために、自分たちに何ができるのだろう。	8	課題の設定 ○ 警固屋小学校が地域に誇れる学校であるかを考え、問題点を見出し、解決に向けた今後の活動への見通しをもつ。 (1時間)	《見通す》 (ステップチャート) [ひととの対話]	・よりよい学校にするにはどうすればよいのか、解決の見通しをもって計画を立てている。 思考力・判断力・表現力① 〈計画表〉〈発言〉	算数科 5年 割合の グラフ			
		情報収集 ○ 警固屋小学校の現状について調べる。 (2時間)				・アンケートなど、課題に応じた方法で調査を実施している。 知識・技能① 〈ワークシート〉〈行動観察〉		
		整理・分析 ○ 集めた情報を整理して課題を明らかにし、解決方法を考える。(2時間)					《分類する》 (KJ法) [ひととの対話]	・よりよい学校にするための取組について、友達と話し合いながら、問題の解決に向けて協力して取り組んでいる。 協働性① 〈ワークシート〉〈行動観察〉
		まとめ・表現 ○ 現在の学校の課題を解決するために全校児童にポスターを作るなどして呼						

【単元を貫く問い】地域に誇れる警固屋小学校にするために、自分たちに何ができるのだろうか。

		<p>びかける。(2時間)</p> <p>振り返り</p> <p>○ 学校をよりよくするための取組について振り返る。(1時間)</p>		<p>的にまとめている。</p> <p>思考力・判断力・表現力④ 〈行動観察〉〈表現物〉</p> <p>・自分たちの取組が学校をよりよくするだけでなく、地域の活性化にもつながっていることを理解している。</p> <p>知識・技能②〈ワークシート〉〈発言〉</p>	
二	11	<p>新たな課題の設定</p> <p>○ 警固屋小学校の伝統がこれまで受け継がれてきた意味を考え、伝統を受け継ぎ、さらに地域に誇れる学校にするための自分たちの課題を明らかにする。(2時間)</p> <p>情報収集</p> <p>○ 卒業生や保護者等へのアンケート等で、伝統を引き継ぐ思いや、願いについて知る。(2時間)</p> <p>整理・分析</p> <p>○ 集めた情報をもとに、どんな発表にしたいか考え、学習発表会に向けて、渦潮太鼓やソーラン節の表現方法を工夫する。(6時間)</p> <p>まとめ・表現</p> <p>○ 学習発表会で渦潮太鼓、ソーラン節を発表する。</p> <p>振り返り</p> <p>○ 学校の伝統を引き継ぐ活動について振り返る。(1時間)</p>	<p>《見通す》 (ステップチャート) [ひととの対話]</p> <p>《多面的に見る》 (Yチャート) [ひととの対話]</p>	<p>・伝統を受け継ぎ、地域に誇れる学校にするために課題を明らかにし、解決の見通しをもって計画を立てている。</p> <p>思考力・判断力・表現力① 〈計画表〉〈発言〉</p> <p>・学校の伝統である渦潮太鼓、ソーラン節、スタンプラリー等は、様々な人々の思いや願いによって支えられてきたことが分かる。</p> <p>知識・技能②〈ワークシート〉〈行動観察〉</p> <p>・目標とする発表に向け、友達の表現や自分の動画を確認しながら積極的に表現方法を工夫している。</p> <p>主体性①〈行動観察〉〈ワークシート〉</p> <p>・保護者等のアンケートから、自分たちの発表が学校の伝統の継承だけでなく、地域の活性化にもつながっていることを理解している。</p> <p>知識・技能②〈ワークシート〉〈発言〉</p>	<p>国語科 5年 敬語の 使い方</p> <p>学校行事</p>
三	10	<p>新たな課題の設定</p> <p>○ 他地域へも警固屋小学校のよさを広めるために、封筒のデザインを考えるという依頼を受け、デザイン作成の見通しをもつ。(2時間)</p> <p>情報収集</p> <p>○ 他地域等の魅力を発信しているデザインや「良いデザイン」について調べる。(2時間)</p>	<p>《見通す》 (ステップチャート) [ひととの対話]</p> <p>《多面的に見る》 (くま手チャート) [ひととの対話]</p>	<p>・学校や地域をアピールするデザインするにはどうすればよいのか、解決の見通しをもって計画を立てている。</p> <p>思考力・判断力・表現力① 〈計画表〉〈発言〉</p> <p>・警固屋小学校のよさをアピールするデザインにするために必要な情報を、実物やタブレット等を活用して収集している。</p> <p>思考力・判断力・表現力② 〈ワークシート〉〈行動観察〉</p>	<p>家庭科 6年 わたしたちの 生活と 地域</p>



「単元を貫く問い」地域に誇れる警固屋小学校にするために、自分たちに何ができるのだろうか。

	<p>整理分析</p> <p>○ 集めた情報を整理して、封筒のデザインを考える。(3時間)【本時 6/10】</p> <p>まとめ・表現</p> <p>○ 採用に向けて、決定したデザインについてまとめ、プレゼンする。(2時間)</p> <p>振り返り</p> <p>○ 地域に誇れる警固屋小学校にするための活動を通して成長したことを振り返る。(1時間)</p>	<p>《比較・順序付ける》 (ダイヤモンドランキング) [ひととの対話]</p>	<p>・警固屋小学校のよさをアピールするデザインにするために、集めた情報を比較したり順序付けたりして理由や根拠を明らかにし、デザインを決定している。</p> <p>思考力・判断力・表現力③ 〈ワークシート〉〈行動観察〉</p> <p>・校長先生に説明するために、デザインについて集めた情報を活用し、効果的に発表している。</p> <p>思考力・判断力・表現力④ 〈行動観察〉〈表現物〉</p> <p>・地域への貢献に対する意識の高まりは、地域に誇れる学校を作ることが地域の活性化につながることを探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p> <p>知識・技能③ 〈ワークシート〉〈発言〉</p>	<p>国語科 6年 町の幸福論</p>
--	---	--	---	-----------------------------

■ 本時の展開

○ 本時の目標

警固屋小学校の良さをアピールするという目的に合ったデザインについて考え、理由や根拠をもとにどんなデザインにするかまとめることができる。

○ 学習の展開

	学習活動 《思考スキル》(思考ツール) [対話]	◇ 指導上の留意点 ○ 予想される児童の反応 ◆ Cと判断される生徒に対する手だて	具体的評価規準 (評価方法)
つかむ	<p>1 「良いデザイン」についてまとめたことを確認する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>◇ 前時までに学習した「良いデザイン」についてまとめたものを振り返ることで、本時は「良いデザイン」の視点を基に活動を行うという課題意識をもたせる。</p> <p>○ 「良いデザイン」は、目的や伝える人、何を伝えたいかをはっきりさせておくことが大切だったな。</p>	
<p>どんなデザインにするか考え、グループの意見をまとめよう。</p>			
考える・深める	<p>3 前時までに考えた個人の意見を確認する。</p> <p>4 グループで封筒に付け加えることについて交流する。</p>	<p>◇ 前時までに作成したデータチャートを見て、自分が封筒のデザインに付け加えたいと思ったものとその理由を確認させる。</p> <p>◇ 「良いデザイン」の視点で話し合いを行うことができるように、ロイロノートで自分が作ったデータチャートを友達に送り、それをもとに交流させる。</p> <p>○ 校章は学校を表すマークで、学校を大切にしていると分かってもらえるから入れた方がいいと思う。</p> <p>○ けごっくんの音戸大橋マークを入れたら、音戸の瀬戸の歴史についてもアピールできると思う。</p> <p>○ この封筒のように、波のマークを入れたら自然豊かな地域ということが伝わると思う。</p> <p>○ このようなマークを入れたら地域の優しさが伝わると思う。</p> <p>○ この封筒のように、学校の教育目標やめざす子どものフレーズを入れたら警固屋のよさを分かると思う。</p>	

	5 グループで出た意見をまとめる。	◇ グループの意見をまとめるために、ダイヤモンドランキングを使って、複数のアイデアに優先順位を付けながら話し合わせる。	
	【考える場面】 考える内容 グループで封筒のデザインをまとめるために、友達と意見を交流し、「良いデザイン」の視点で封筒にどんなことを付け加えたらよいかについて、優先度を付けながら考える。		
	《比較・順序付ける》 (ダイヤモンドランキング) [人との対話]	○ 校章は学校を大切にしている思いが伝わるから優先順位が一番高いと思う。 ○ 警固屋の歴史が伝わりやすいのはけごっくんマークだから校章よりもけごっくんマークの方が優先順位が高いと思う。 ◆ 何を、誰に伝えたいかという目的を再度提示し、「良いデザイン」の視点で話し合うことができるようにする。	・警固屋小学校のよさをアピールするデザインにするために、集めた情報を比較したり順序付けたりして理由や根拠を明らかにし、デザインを決定している。 思考力・判断力・表現力③ 〈ワークシート〉 〈行動観察〉
	6 各グループの考えを全体で交流する。	◇ 各グループで作ったダイヤモンドランキングを提示しながら、考えを比較させる。 ○ どのグループもけごっくんマークは優先順位が高くなっているな。 ○ 他のグループと違って自分のグループは学校の教育目標が大切だと考えているな。	
まとめる	7 本時を振り返るとともに、今後の学習の見通しをもつ。	◇ 「振り返りの視点」を意識させる。 ○ 「良いデザイン」の視点を考えながら、どんなデザインにするかまとめることができた。 ○ 初めは校章はいらないと思っていたけど、〇〇君の考えを聞いて必要だと思った。 ○ ダイヤモンドランキングを使って、目的のために必要なことの順序を考えることができた。	
	「良いデザイン」の視点で考え、グループの意見をまとめることができた。		
		◇ 次時は、フォントやレイアウトについて考えていくことを伝え、ゴールに向けての見通しをもたせる。	

○ 板書計画

どんなデザインにするか考え、グループの意見をまとめよう。

目的
警固屋小学校の良さをアピールするため

誰に
封筒を受け取る人
・地域の人
・他の学校の人
・保護者
・他の地域の人

伝えたいこと

```

      graph TD
        Root[警固屋の良さ] --- 人[人]
        Root --- 自然[自然]
        Root --- 歴史[歴史]
        Root --- 伝統[伝統]
        Root --- 学校[学校]
        
        人 --- 人Detail[地域の人が温かく優しい]
        自然 --- 自然Detail[海 山 景色がきれい]
        歴史 --- 歴史Detail[平清盛 音戸の瀬戸 歴史がある]
        伝統 --- 伝統Detail[ソーラン節 渦潮太鼓 スタンプラリー 受け継がれている]
        学校 --- 学校Detail[みんな仲が良い 自分を創る 目標がある]
      
```

良いデザインとは

目的、誰に、何を伝えるかはっきりしている
レイアウト
近接、整列、反復、強弱

「良いデザイン」の視点で考え、グループの意見をまとめることができた。

成果と課題

【成果】

- ・ 本単元では、「各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、地域に誇れる警固屋小学校にするために、校内の課題を解決したり、伝統を継承したりする取組を通して、地域の活性化のために自分に何ができるかを探求し、自分は地域とどうかかわり、どう生きるのかを考える。」という探究的な見方・考え方を働かせることを重視して指導した。「ちゃんと課題を見つけて解決していくことでもっと良くなることが分かりました。3学期も課題を見つけ、解決に向けて取り組んでよりよい警固屋にして地域を元気にしたいです。」や「学校での課題はまだ完全に解決しているわけではないので、3学期はもう一度考えてみたいです。そして、地域の人にほめられる警固屋小学校の児童になるよう、ぼくたち6年生が引っ張っていきみたいです。」や「1学期から主に3つの取組をしてきたけど、どれも地域の方々に喜んでいただけるような、警固屋を元気にする活動でした。そのような取組をして、警固屋小だけでなく警固屋全体をもっと、今まで以上に大切にしていきたいと思いました。」など、地域への貢献に対する児童の意識が高まったことは、探究的に学習してきた成果であると考えます。(知識・技能)
- ・ 本時では、封筒のデザインに付け加えることをグループで話し合っまとめる活動を行った。「良いデザイン」の視点で、理由や根拠を明らかにして付け加えたいことを話し合う姿が見られた。「グループで出た意見を比べて、仲の良さや、景色が良いことを伝えるために校章の優先度を一番高くしました。警固屋のよさを伝えるために優先度を付けて話し合うことができました。」という本時の児童の振り返りの記述からも、情報を比較したり、順序付けたりしながらデザインを決定することができた様子が分かる。これは、本時で思考ツール(ダイヤモンドランキング)を使用し、複数のアイデアに優先順位を付けながら話し合うという「考える場」の設定を行った成果であると考えます。(思考力・判断力・表現力)
- ・ 事後アンケートの結果を見ると、「課題について『なぜだろう』『やってみたい』と思う。」について全員が肯定的な回答をしていた。これは、本質的な問い「わたしたちは地域とどうかかわり、どう生きるのか。」を設定し、それをもとに、思考の流れを想定した単元計画を作成したことにより、児童が解決したいと思える課題につながり、自分たちに何ができるのかを深く考え、主体的に学習することができたためと考えます。(主体性)
- ・ 事後アンケートでは、「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりしています。」についても肯定的な回答が94.1%と高かった。単元後の児童の振り返りには、「封筒のデザインを考えるとき、みんなで意見を出し合っ、どんなのがいいのか考えました。だんだん完成してきたけど、本当にこのデザインでいいのだろうか、これで相手に伝わるのだろうかともう一度考え解決できました。」や「班の人と協力してより深い考え方や新しい意見によって、一人でするよりもっと警固屋を良くすることができました。」などの記述があり、学習を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたことが分かった。単元を貫く問い「地域に誇れる警固屋小学校にするために、自分たちに何ができるのだろうか」をもとに、グループでの話し合い活動を設定し、課題解決に向けて協働して取り組む学習を、単元を通して行ってきた成果であると考えます。(協働性)

【課題】

- ・ 事後アンケートの結果、「授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」の肯定的回答が64.7%と低かった。全校児童や卒業生にアンケートを取ったり、本やインターネットで調べたりするなど様々な方法で情報を収集する活動を行なったが、自ら進んで必要な情報を収集することができたという意識は高まらなかった。今後は更に、人、もの、こととの対話を通して、進んで情報を集める工夫が必要であると考えます。